

平成28年3月23日(水)

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションへの出資について

- 瀬戸内地域の観光産業活性化を目的に、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションへ出資します。
- 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションは、岡山県など7県を理事とする一般社団法人せとうち観光推進機構と連携して、国内最大規模、かつ、世界でも例を見ない体制である、瀬戸内ブランド推進体制を構築します。
- 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションは、瀬戸内地域が国内外の多くの人から選ばれる地域となるために、観光関連産業に対して経営支援や資金支援を通じて瀬戸内地域の価値の最大化を目指します。

株式会社トマト銀行(取締役社長 高木 晶悟)は、瀬戸内地域の観光産業活性化を目的に、瀬戸内地域内外の事業会社27社と金融機関19社(当社を含む)の46社を発起人として設立する株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションへ出資いたしますので、お知らせいたします。

当社は、岡山県と連携・協力に関する包括協定を締結しており、岡山県と連携して瀬戸内地域の観光振興を図る目的で同社に出資するものです。

また、当社の中期経営計画「トマトみらい創生プラン」の重点目標に「地方創生・活性化への貢献」を掲げており、今後とも地域の発展に寄与してまいります。

記

1. 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションの役割

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションは、瀬戸内のブランド化を加速させ、さらには、観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たすべく、岡山県など7県を理事とする一般社団法人せとうち観光推進機構(※1)と連携して、国内最大規模、かつ、世界でも例を見ない体制である、瀬戸内ブランド推進体制(※2)を構築いたします。

瀬戸内地域が国内外の多くの人から選ばれる地域となるために、観光関連産業に対して経営支援や資金支援を通じて瀬戸内地域の価値の最大化を目指します。

※1 一般社団法人せとうち観光推進機構

瀬戸内ブランドの確立を目的とし、代表者を民間人、理事を兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県の7県とする一般社団法人。

※2 瀬戸内ブランド推進体制

瀬戸内エリアの価値向上のため、一般社団法人せとうち観光推進機構、観光関連事業者、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションが連携する体制。これは、国が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、魅力ある観光地域づくりの推進母体として位置づける日本版 DMO(※3)に当たるものである。

※3 DMO

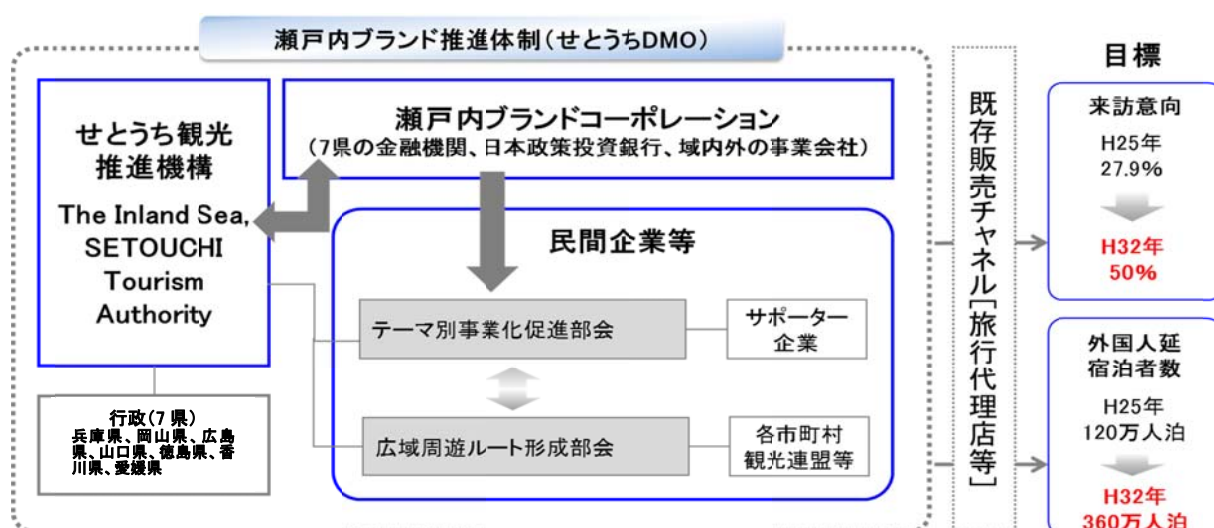
Destination Management Organization の略。戦略策定、各種調査、マーケティング、商品造成、プロモーション等を一体的に実施する、主に米国・欧州で見られる組織体。

※瀬戸内ブランド推進体制図については、次ページをご参照ください。

2. 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションの概要

- (1) 商号 : 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション
 - (2) 代表者 : 代表取締役社長 水上 圭(みづかみ けい)
 - (3) 本店所在地 : 広島県広島市中区基町10番3号
 - (4) 従業員 : 15 名程度
 - (5) 資本金 : 4億5,000万円
 - (6) 出資者 : 事業会社27社、金融機関19社
 - (7) 設立予定日 : 平成28年4月1日
 - (8) 事業内容
 - ①事業化・事業拡大・新規事業開発に必要な経営支援
 - ②事業化および成長に必要な資金の供給
 - ③DMS(※4)の開発
- ※4 DMS
Destination Management System の略。DMO の活動を支援するために、様々なチャネルやプラットフォームを統合し、観光コンテンツ等を包括的に配信(サービス化)する仕組み。

3 瀬戸内ブランド推進体制図



以上